

市のシンボル

「市章・市旗」…… 市章は、戸田市の「と」と「田」を一体化したもので、「融和・団結」と産業、文化の飛躍的「発展」を象徴。

市旗は、市章を白地に真紅に染めたもの。

(昭和41年制定)



「市の木」モクセイ…… 市民の生活の中で「身近な木」として選ばれた。

古来から、庭園などで広く親しまれている。

常緑樹で、開花時期には特殊な芳香を放つ。

(昭和51年制定)



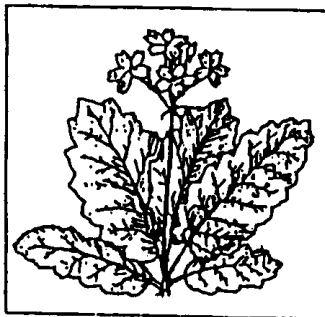
「市の花」サクラソウ…… その昔、荒川の沿岸戸田ヶ原などにいくつかの群落が

あったが、しだいに荒らされ、いまは、田島ヶ原サクラソウ自生地が有名。

国の特別天然記念物。

戸田にゆかりの深いサクラソウを、再びよみがえらせ、長く継承したいとして選ばれた。

(昭和51年制定)



ハーモナイズド・マーク…シティ・ステートメントとイメージ・シンボルの組み合わせをハーモナイズド・マークと呼びます。

ハーモナイズド・マークは、新しい戸田市のシンボルマークとして市役所を中心としたあらゆるアイテムに展開されています。

イメージ・シンボルはTODAをモチーフに創作されました。交流・発展していく戸田市の未来像をレッドの「T」で、ふれあう人々のあたたかさとエネルギーをイエローの「O」で、豊かに流れる荒川をブルーの「D」で、戸田市にあふれる自然をグリーンの「A」で表現しました。

(平成5年制定)

